

小学校 第6学年 外国語活動学習指導案

平成27年12月11日(金) 金曜日 第4校時

6年 児童数

指導者 T1

T2

1 単元「一日の生活を紹介しよう」『Hi, friends2 Lesson 6 What time do you get up?』

2 単元観・キャリア観 (キャリア教育の視点に関わる部分にアンダーライン)

(1) 単元観

本単元は小学校学習指導要領外国語活動の内容1-(1)「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。」及び1-(2)「積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。」また、2-(1)「外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさ気付くこと。」及び2-(2)「日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと」を基に構成されている。

本単元で子どもたちは、時刻の言い方や生活の中の動作を表す言い方を知り、ゲームやインタビューを通して時刻や生活の表現に慣れ親しむ。単元のゴールでは、友達の起床や登校などの時刻や、学校にいるとき以外の過ごし方を互いに尋ね合ったりすることで、友達の新しい一面を発見することができる。また、世界に目を向けて、日本と世界の様々な国との間には時差があることに気付かせ、このことを機にさらに世界に興味を向けさせ、3学期の社会科での学習内容にもつなげたい。

また、本単元で扱う“What time do you～?”を使った表現に慣れ親しむことは、中学校の「友達の生活を紹介しよう」という活動の中で、相手にインタビューする際にも扱う表現である。中学校での表現の導入時には、本単元で使った絵カードや慣れ親しみの活動を活用することで、中学校の学習へスムーズに移行できると思われる。

須崎市が取り組んでいるキャリア教育の視点においても、お互いの生活時間を聞き合うインタビュー活動を通して、自分の生活を見つめ直すとともに友達との生活の違いに気付かせ、お互いを認め合う中で、人間関係形成能力を育てていきたい。

(2) 児童観

これまで児童は、お互いの誕生日やできること等をインタビューし合ったり道案内をし合ったりして、友達と外国語でのやり取りを楽しんできた。

本学級の児童は、学級担任と中学校英語科教諭とともに、外国語活動の時間にアクティビティやゲーム等を通して外国語活動に慣れ親しんでいる。他の教科では学習に積極的でない児童も楽しく活動に参加し、毎週金曜日の外国語活動の時間を楽しみにしている様子がうかがわれる。

しかし、言い方に慣れるためのゲーム的な活動やペアでの活動には意欲的に取り組めるが、コミュニケーションを伴う活動や、個人で表現しなければならないような場面では、自分から進んでやってみようとする意欲が弱い。また、活動内容を一度で理解できない場面があり、授業の中で同じことを何度も繰り返し説明しなければならないことが度々ある。そこで、自信をもたせるために、T1とT2がデモンストレーションをして見せて、十分に活動の内容や仕方を理解させてから活動に入るように配慮してきた。

また、話し手が思いを言いたくなるような聞き方、聞き手が聞きたくなるような話し方、いわゆる相手意識を大切にするために、5つのコミュニケーションポイント (eye contact、smile、clear voice、response、gesture) を提示して意識付けをしてきた。このことは他教科でも取り組んでおり、毎時間提示して意識付けをすることで、児童は少しずつ相手意識を大切にしながらコミュニケーションを図ることができるようになってきている。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、はじめに時刻の言い方や動作の言い方を知り、次に生活を表す表現や時刻を尋ねたり答えたりする表現を知る。ゲームや絵カードを有効に使うことで耳でしっかり聞いて確かめさせたあと、何度も繰り返し発音することで新しい表現に慣れ親しませたい。具体的には「チャンツ」や「おはじきゲーム」、「メモリーゲーム」を行い、楽しみながら生活の動作の表現に慣れ親しませる。そして、インタビューゲームで、互いの生活を尋ねたり、自分の生活を紹介したりしながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

本時は、友達と生活の時刻を聞き合う活動をメインアクティビティとして行う。児童が意欲的に活動できるようにするために、ジェスチャークイズで前時までに学習してきた生活を表す表現を復習し、チェーンゲームを通して時刻を言ったり聞いたりする言い方を復習する。メインアクティビティを行う前には、T1とT2でデモンストレーションを行うことで活動の見通しをもたせ、意欲的にアクティビティに取り組ませたい。

また、6年生の各教科・領域で共通して進めているキャリア教育の「人間関係形成・社会形成能力」を育てるという視点とも関連づけて指導する。お互いの生活時間を聞き合う活動を通して、人によって生活時間の使い方が違うことに気づき、今まで知らなかった友達の一面を知ること、お互いを認め合えるきっかけにしたい。

小中連携においては、中学校の英語暗誦大会を参観することで小学生が中学生への憧れとしての動機づけになっている。また、週1時間T2として小学校の担任が中学校1年生の授業に、中学校英語科教諭が小学校外国語活動に入っている。このことで、小学6年生に中学生の英語の内容について伝えることができるという利点があり、また小学校で児童がどのような教材を使い、どのような体験をし、どの程度英語に親しんできたのかという実態を中学校英語科教諭が把握することができ、児童の経験をもとに中学校英語につなげることができるという利点がある。

3 単元の指導目標

- 外国語活動の指導目標
 - ・相手意識を大切にして自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりしようとする。
 - ・生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。
 - ・世界の様子に興味をもち、世界には時差があることに気付く。

- キャリア教育視点でのつきたい力
 - ・自分の一日を紹介したり友達の生活時間を聞き合ったりする活動を通して、いろいろな生活時間の使い方があることに気づき、お互いを認め合う。 【人間関係形成・社会形成能力】

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
◎相手意識を大切にして自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりしている。	◎生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねたり答えたりしている。	◎世界の様子に興味をもち、世界には時差があることに気付いている。

5 指導と評価の計画（全5時間）

時	主な学習活動	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への 慣れ親しみ	言語や文化に 関する気付き
1	<p>◆生活を表す表現や、時刻の言い方、尋ね方を知る。</p> <p>【Let's Play 1】「ナンバーゲーム」</p> <p>【Let's Listen 1】「何時かな？ 時計に針や数字を書こう。」</p> <p>【Let's Play 2】「ジェスチャークイズ」「おはじきゲーム」</p>		生活を表す表現や時刻の言い方を聞いたり言ったりしている。	
2	<p>◆動作を表す言葉や時刻を表す表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Play 1】「ナンバーゲーム」</p> <p>【Let's Listen 2】</p> <p>「（ ）に時刻を書いて、さくらとあなたの一日を比べよう。」</p> <p>【Let's Play 2】「おはじきゲーム」</p> <p>【Let's Chant】</p> <p>“What time do you get up?”</p> <p>【Activity1】「先生の一日を予想して、インタビューしよう。」</p>		生活を表す表現を聞いたり言ったりしている。	
3	<p>◆一日の生活についての時刻を表す表現に慣れ親しみ、時差があることを知る。</p> <p>【Let's Play 1】「ナンバーゲーム」</p> <p>【Let's Play 2】「メモリーゲーム」</p> <p>【Let's Chant】</p> <p>“What time do you get up?”</p> <p>【Let's Listen 3】</p> <p>「世界の時刻を□に書こう。地図の都市と絵を線で結ぼう。」</p>		<ul style="list-style-type: none"> 一日の生活についての時刻を尋ねたり答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界には時差があることに気づいている。
4 (本時)	<p>◆生活を表す表現やその時刻を尋ねる言い方に慣れ親しむとともに、積極的に友達に尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p>【Let's Chant】</p> <p>“What time do you get up?”</p> <p>【Let's Play 2】</p> <p>○チェンゲーム</p> <p>○友だちの生活の時刻を知ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識を大切にして自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりしている。 		
5	<p>◆相手に伝わるように自分の生活を紹介しようとする。</p> <p>【Let's Chant】</p> <p>“What time do you get up?”</p> <p>【Activity 2】</p> <p>「あなたの1日を紹介しよう。」</p> <p>○ニューヨークの生活と比べよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識を大切にして自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりしている。 		

6 本時の指導 (4 / 5)

(1) 目標・評価規準・評価方法

本時の目標	○相手意識を大切にして自分の一日を紹介したり、友達や先生の一日を聞き取ったりする。 ○友達と生活時間を聞き合う活動を通して、いろいろな生活時間の使い方があることに気付き、お互いを認め合う。
本時の評価規準	【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ○相手意識を大切にして自分の一日を紹介したり、友達の一日を聞き取ったりしている。
評価方法	行動観察・振り返りカード

(2) 展開

	学 習 活 動	指導者の活動と留意点		*評価規準 (評価方法)
		T 1	T 2	
挨拶	1. 挨拶をする。 Let's start. Hello. How are you? I'm fine, thank you.	・挨拶をする。 ○指導者側から元気よく挨拶をする。	・挨拶をする。	
導入	2. Warm up . ・ T 1 が提示した絵を発話する。 ・ T 1 のジェスチャーを発話する。	・絵を提示し、発話するように指示する。 ○発音と動作を一緒に楽しみながら活動し、リラックスさせる。	・子どもの様子を見ながら発話する。 ・ランダムに発話する。	
展開	3. めあてを確認する。	○本時のめあてを提示する。		
	4. リズムチャンツ	○めあてを確認させ、友達や先生に一日の生活の時刻を聞いたり答えたりする意欲を高めさせる。 ・時刻の答え方を言う。	友達のなかで一番〇〇する時間が早い人を探そう。 ・時刻の尋ね方を言う。	

展 開	<p>5. ゲーム</p> <p>《チェーンゲーム》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3チームに分かれて並び、2番目の児童が先頭の児童に起きる時刻を尋ね、先頭の児童は答える。(先頭の児童は最後尾に移動) ・ 3番目の児童が2番目の児童に起きる時刻を尋ね、2番目の児童は先頭の児童の答えに自分の答えを加えて答える。 <p>“What time do you get up?” “At ○○. At ○○.”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この応答を続けていき、最後尾に移動した先頭の児童が最後の児童に尋ね、その児童が全員の起きる時刻を答えたら終了。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T2とデモンストレーションをする。 <p>○T2とデモンストレーションをし、活動の見通しをもたせる。</p> <p>○コミュニケーションポイントを掲示し、相手意識をもたせる。</p> <p>(eye contact, smile, clear voice, response, gesture)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一緒にゲームをしながら、つまづいている児童に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1といっしょにデモンストレーションする。 ・ What time ~?をリピートさせる。 <p>○一緒にゲームをする。</p>	
	<p>6. コミュニケーション活動</p> <p>《同じ時刻のカードを持った友達を探そう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デモンストレーションを見て活動の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T2とデモンストレーションをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1といっしょにデモンストレーションをする。 	<p>T1: Hello. My name is ○○. T2: Hello. My name is ○○. T1: What time do you get up? T2: At ~. T1: Me, too. Here you are. (同じカードなら渡す) T2: What time do you ~? T1: At ~ . T2: Me, too. Here you are. (同じカードなら渡す) T1・T2: Thank you. See you.</p>

	<p>《一番〇〇する時間が早い人を探そう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の仕方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に質問し合う。 ・一緒に参加しながら、つまずいている児童を支援する。 <p>○途中で気持ちの良いコミュニケーションが取れている児童を、学級全体に紹介する。(中間評価)</p> <p>○T2とデモンストレーションをし、活動の見直しをもたせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に質問し合う。 <p>・T1といっしょにデモンストレーションをする。</p>	<p>*相手意識を大切に して自分の一日を紹介したり、友達の一日を聞き取ったりしている。 (行動観察)</p>
<p>まとめ</p>	<p>6. 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを書く。 ・自分や友達のがんばりを発表する。 	<p>○コミュニケーションポイントを掲示し、相手意識をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に誰が一番早いか聞いて発表させる。 <p>・児童の態度面での良さについて評価する。</p> <p>☆他者と自分の生活時間の違いなどに気付いた発言に対して肯定的にコメントをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語面での良さについて評価する。 	

T1: Hello. My name is 〇〇.
T2: Hello. My name is 〇〇.
T1: I take a bath at ~.
T1: What time do you take a bath ?
T2: At 〇〇.
Thank you. See you.

<Lesson6> What time do you get up? 一日の生活を紹介します 振り返りカード

月 日 今日の活動内容 4 / 5 []
○笑顔で、楽しく活動をしましたか。	よくできた (^O^)	できた (^_^)	できなかった (>_<)	
○はっきりした声で話すことができましたか。	(^O^)	(^_^)	(>_<)	
○相手の方を見て話したり聞いたりしましたか。	(^O^)	(^_^)	(>_<)	
○相手のことを考えながら一日の生活についての時刻を尋ねたり 答えたりしましたか。	(^O^)	(^_^)	(>_<)	
※今日の活動の感想（会話の楽しさや友達のよいところ、自分や友達の新しい発見等）を書きましょう。				

7 板書計画

友達の中で一番〇〇する時間が早い人を探そう。

get up	play basketball	eat dinner	swim		eye contact	clear voice
take a bath	watch TV	clean my classroom	play the piano		smile	response
go home	eat breakfast	go to scool	study at school			
play soccer	go to bed	eat lunch	study at home		gesture	

だれが一番〇〇するのが早いか 当てよう

		
時刻	● ●	● ●
友達の名前		
		
時刻	● ●	● ●
友達の名前		

Name: